横浜市立 新井中学校　　令和5年度

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

「自立・共生・学び合い」
○自分のよさを知り、なりたい自分を見つけられる人を育てます。(知)
○相手のよさを認め、励まし合い、地域と共に生きる人を育てます。(徳・公)
○命の大切さを知り、持続可能な社会を共に創る心と体を育てます。(体・公)
○思いやりのある、親切な行いを実践し、社会に貢献できる人を育てます。(開)

教育課程全体で育成を目指す資質・能力

協力して学び続ける態度
思いや考えを伝えあう言葉の力
他者のため、社会のために行動する力
命を大切にし、心身の健康を管理する力

具体化した資質・能力

コミュニケーション能力　　自立・自律
社会に貢献する行動力　　問題解決能力

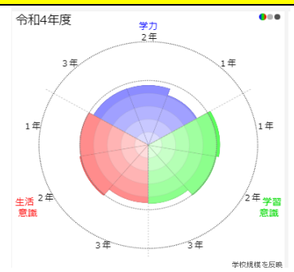
中期取組目標

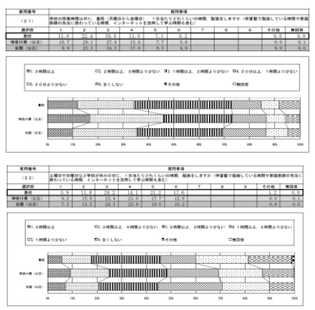
○学校教育目標を実現するために、全教職員が学校運営に主体的に参加し、一丸となって、教育活動を行います。
○学力向上を図るために、基礎基本の習得を重視し、協働して学ぶ生徒の育成をめざします。
○体力の向上と、心身ともに健康な人を育成するために、持続可能で調和の取れた教育活動を行います。
○持続可能な社会づくりのために、地域と協働する学校づくりをめざします。
○横浜で一番アットホームな学校をめざします。

学力向上アクションプラン

重点取組分野		具体的取組
授業改善		市の学力・学習調査、全国学力・学習調査を活用し、生徒の実態を分析して学力向上アクションプランを作成し、エビデンスに基づいて「わかる授業」の実現を目指す。教職員同士でお互いの授業を見学し、意見交換をすることで、教育実践の質を高める。指導と評価の一体化を意識させ、適切な評価を実践するとともにフィードバックをし、授業改善に役立てる。
担当	学習指導部	

学力向上に関わる本校の状況





今年度の目標

学力向上を図るために、基礎基本の習得を重視し、「わかる授業」だけでなく家庭学習の充実を目指す。協働して学ぶ場面を意識的に取り入れる。

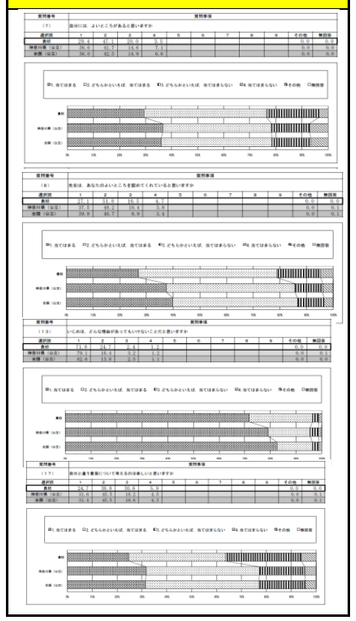
目標を実現するための具体的行動プラン

上半期	各教科で昨年度の学力学習状況調査の結果分析を基に、今年度の重点目標を検討する。基礎基本の習得のために、夏季学習会やAタイム・manabuba+の有効活用を検討する。定期試験の範囲表や学習計画表を早めに配布したり、試験前の部活動を軽減したりして家庭学習の充実を促す。また、英語のデジタル教科書などを家庭で有効活用するよう指導していく。
下半期	夏季学習会やAタイム・manabuba+の活用について検証し、改善をしていく。パトロール時に短時間でも授業を見学し、コメント用紙なども用いて気が付いたことを伝えあい、授業力向上を図ると共に「わかる授業」の実現を目指す。

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野		具体的取組
人権教育		「だれもが、安心して、豊かに、生活できる学校」の実現のために、思いやりの心を育成し親切な行動を促すとともに、持続可能な社会の一員として、自らの役割を意識させ自己有用感を高める。「心を整える」指導を実践し、自立できる生徒、多様性を理解し少数者の立場にたって考えることのできる生徒を育成する。今年度も人権講演会を実施し、教職員、生徒の人権意識を高める。
担当	人権・国際・総合	

豊かな心に関わる本校の状況



今年度の目標

昨年度より継続して、自分のよさを知り、他者のよさを認められる生徒の育成を目指す。道徳の授業を中心に、全教育活動において「心を整える」指導を行う。

目標を実現するための具体的行動プラン

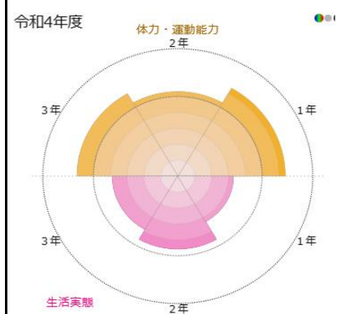
上半期	道徳をはじめ各教科の授業内や行事などの振り返り、学級の帰りの会などで他者のよさを認め、伝えあうことを通して、自分のよさを認められるようにしていく。
下半期	思いやりの心を育成し、「だれもが、安心して、豊かに、生活できる学校」の実現に向けて、人権講演会や人権週間を中心に取り組んでいく。

健やかな体の育成プラン

重点取組分野		具体的取組
健康教育		体力の向上を図るために、保健体育の授業や体育祭の取組で生徒一人ひとりの意欲を引き出す。感染症への対策、怪我の未然防止などを指導し、実のあるものとする。新体力テストの結果とアンケート調査結果をもとに、今後の運動指針を作成して日常生活に取り入れ、よりよい運動習慣や生活習慣が身につくよう支援する。コロナの収束により、教育活動の範囲が広がると予想し、活動計画の質と量を高める。
担当	保健安全指導部	

健やかな体に関わる本校の状況

(1)健やかな体に関わる生徒の実態
保健体育の授業や体育祭の取り組みなどに主体的に取り組む生徒が多く、体力の向上に向けた積み重ねができる状況であり、令和4年度の横浜市体力・運動能力調査の結果も、横浜市の平均を上回る結果となり継続している。
(2)これまでの学校の取り組み状況
保健だより等で感染症予防の注意喚起を行い、手洗いやマスク着用、換気等を習慣化できたことで感染拡大には至らなかった。



今年度の目標

主体的に運動に取り組む生徒の育成をするとともに、感染症への対策や怪我の未然防止への意識を高め、健康で安全な生活を心がけさせ、さらなる体力の向上を図る。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期	・保健だよりの定期的な発行 ・全校集会等での感染症予防への呼びかけ ・保健体育の授業において、十分な準備運動の実施と自己や仲間の安全を確保するための手段の指導の徹底 ・個々に応じた適切な目標設定のための支援や生徒一人ひとりの意欲を高めるための働きかけ ・体育祭に向けた主体的な取り組み ・新体力テストや身体測定により、自分の心身について理解し、体力向上や健康保持するための手立てを深める。
下半期	・保健だよりの定期的な発行 ・全校集会等での感染症予防への呼びかけ ・保健体育の授業において、十分な準備運動の実施と自己や仲間の安全を確保するための手段の指導の徹 ・個々に応じた適切な目標設定のための支援や生徒一人ひとりの意欲を高めるための働きかけ ・自分の心身の成長の振り返りと次年度の目標設定